

壬午三月十三日
古尾

古尾
早子



114
A 4154
6

天主教事情



一堂内ニ邪徒四十有餘人アリ其中二十人餘ハ
 去ヌル戊巳ノ歲諸國ニ御引移ニ相成候長崎
 浦上村ノ邪徒或ハ三歳前ヨリ當堂内ニ隠レ或
 ハ昨年亦ハ當春昨今ノ者モ是アリ思々ニ移住
 サキシ脱走シコニピサン申 コノピサントイフハ思フ心ノ咎モ身ニ
 行フトコロノ罪惡モイナ枉赦スヘ
キ更モ亦親子モ交ヘス教司ト相對ニテ
 顯露ニカヌリノ改悔スルユトナリニ来リ早速移住
 サキヘ歸ラント欲スルノトコロ教司是ヲ止メテ
 住ノトコロヘ歸ラハ政府ヨリ改心ヲ責ラシテハ縱令
 内情ハ変ラストモ外面ハカリ改心イタスト申メ

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

天主ニ對シ大罪ナリトコノ更彼カテ誠中ノ第一ニ
深ク戒メ置ケリ故ニ上件ノ教ニ北月ク勿レテ堂
内ヨリモ奴僕ノ外ハ禁ル他出外ニ十人餘ノ徒ハ近
國遠國ノ集リモノニテ或ハ二年三年前ヨリイ
リ込或諸國巡行シ人ヲ陷溺セシメテハ天主ノ聖
寵ヲ請杯申テ一人ナリモ邪教ニ坎窞セント巧
ナリ彼カ聖教ニ年ニ一度ハコンピサシヲ申スヘシト
アルハ為夫。馳集ル徒ハ頑固ノ族ナリ邪教徒ノ名マヘ
未夕探ラスシ
一安部ト面會セン更種々手敗シ盡セトモ彼モ亦

餘程ノ大事件ナレハ深ク慮ルトゴロアリ而ルニシ
五良ト申者^申アリ歎四十二三歳十歳未滿ノ頃ヨリ
是ノ法ヲ信シ親代々絶ヘサル由已前ノ切支丹ト各
別大遺^遺ハナケレトモ此節ノ教ハ委シクシテ又ヨキト
ゴロアリ別記ニ^記浦上村代々ノ切支丹モ此節ノオ
シヘニ皆改宗トツ申ケリ併シ其意ハ大ニ同シトシ
僕同人ニ曰クコノ一紙誰ノ執筆ナリヤ定テ教司ノ
名代モツトメ申サレ、人ナラントモ五郎曰クソレハ安
部ノ手跡ナリ尚コノ書モ同人ト邪教ヲ和文綴
リ數板ノ更書ハ悉ク安部カ筆ナリ抑モコノ

安部ト申^者ハ長崎産ノ者ニテ數年ノ間浦上
村ニ筆者ヲ勤メ而ルニ身持放^シテツキニ朝暮ノ
烟モ夕チカ子目倍貧苦ニ迫リ^テユ夫ノ手殿モツキ
テ困窮故ニ入邪ス深堀領内ハ勿論処々ノ人民
是カ為ニ誑惑セラレ或ハ家督ヲ損シ金錢ヲ亡ス
人ヲシテ人通ニ背カシメ日月神明等ヲ拜スル勿レ
ノ邪通ヲ弘メ國家大害ノ極惡人若一更モ彼レニ
擬ラハ共ニ 皇國ノホ由彼レ人ヲ欺クノ狡
猾已前ニ倍セリ
一僕^ニ且良ニ向ハク吾^ノ教ヲ安部^ニ知ラハ他^ヲス、

メ人シ道ヲキ天主ニ奉公ノ一助ニモ叶ヒ申サント存
シ心ハカリハハヤレトモ如何セシ友ナシセメテ安部^ニ在
濱ノ時ナラハ尋子同^フヘキ教ノイハレヲ残念此
レニスキス兼テ頼母シキ人^部カナト吾天主ヲ
信スルノ誠未タ薄情ニシテ耶蘇ノ思召ニモ叶ハ
サルアイタカ、ル善人ニモ逢ハサル後悔何レ歸國ノ
上ハ面會モスヘケレトモ爰ニテ面談セサルハ不幸ノ
至極ナリトシ且良曰ク成程最ナリノ実誠左ニシ
モハ、申キカサニ併シ一人ニモ他言毎用ト僕曰ク
吾ニ慮ルハ僕ノ胸中ヲ未知トイフモノナリト僕

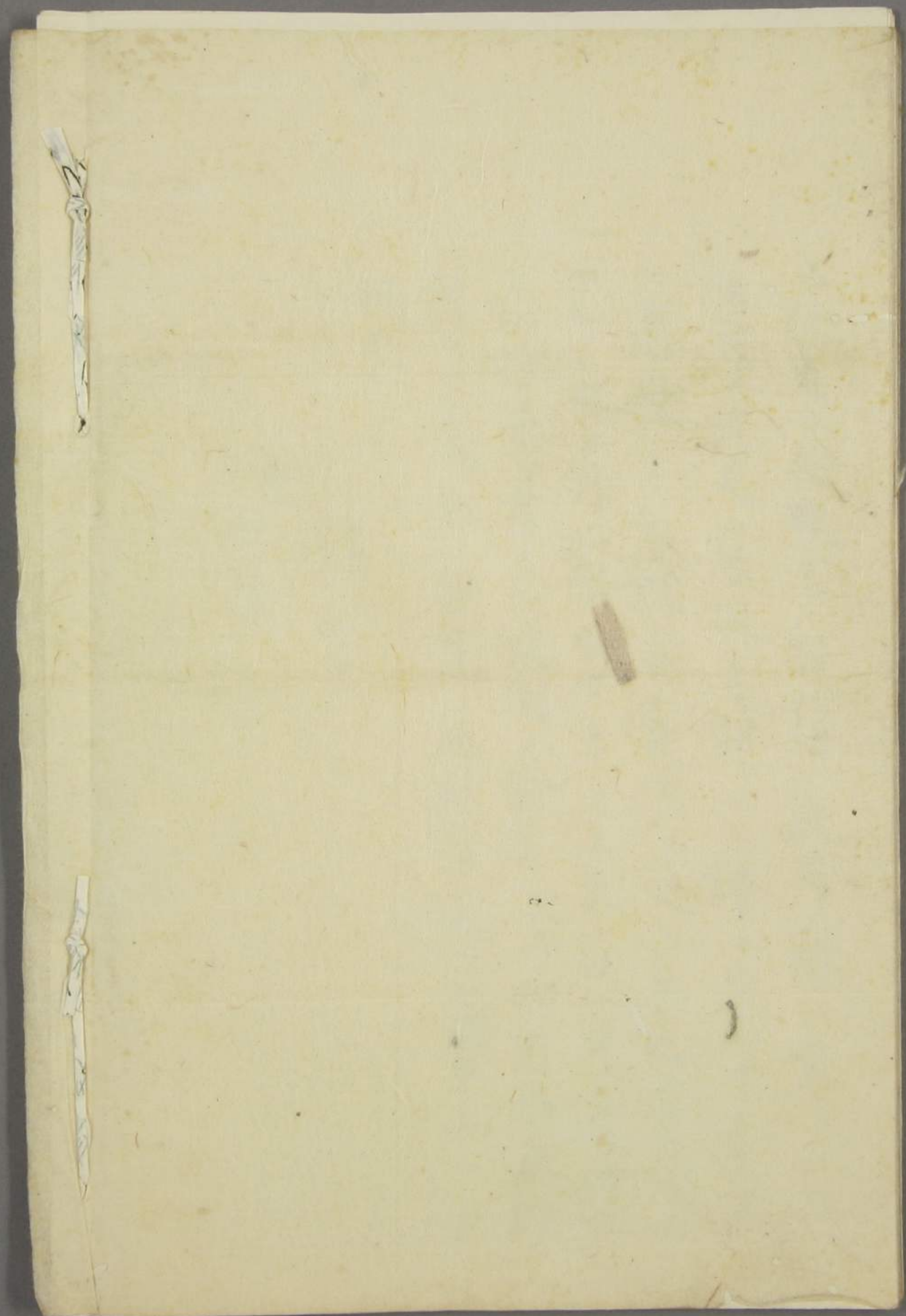
懷中ヨリ洋書ノ原本ヲ取出シ吾毎日通フト
雖モ弗語ハ学ハス而ルヲ平日懷中シテ來ルイハシ
申開サシ抑不用ノ是品ヲモトメシハ毎度堂内ニ
出入セハ諸人役人不平外咎メナハ弗語ノ諸生
也ト申分ケケノ為ノ持參ナリト申シケレハ乙丑良
曰ク夫ハ用心深キタシナシ外ヨリ通フ人ハ恐怖
モ吾等ニ優レリ隨分用心スヘシトイヘリ上件ノ如
左程安部ニ面會イタシタクハ申聞セシ其人ハ當
時東京ニ至リテ官員ノ人ニトリイリ矣ハコノ教
ノ急ニ弘マラサレシマヌルク思ヒ種々ノ手段イタ

シ居ラシ候間即同前ニヨロハシク存スルナリト又
追々トハ堂内ニ歸リ來ル間夕面會其竹節ヲ期
シ努々悔ムヘカラスト僕曰ク夫ハ始テウケタマハリ
然ラハ改心トモハイタスマシキヤ彼ニシテ不亦彼
位ニナレハ人ヲ導クニ妙アリ何レ願モ叶フヘシ毎
公然ト相成間互ニ夫ヲ相タノシトコフ申ケレ僕
曰ク夫ハ外人ハ他出ヲ禁シ安部ノ東京行ハ教司
等モヨク赦シタリト曰ク堂内ハ何トナク出行キ
就テハ教司モ不快ニ思ヒ居ルナリト僕曰ク夫ハ変
心故ニ教司モ不快ニ思ヒ亦其シタコトアレ故ニ安部

毛脱走ニ毎暇ニテ出行ヲ教司ノ憤ハ最ナリト
彼曰ク脱走ハ不快トモ謂フヘシ併シ改心ナトイタ
ス懸擬ニテ不快ト申すニテハ變テ毎之亦改心セ
サレノ彼カ丹心明白ナリト上來一口一言ノ連續セ
サレ採集ノ書ニテ披閱ノ賢者 伏而即用捨奉願
何レトモ潤色ノ探策ハ其節ヲ遂ケ言上申上ヘク
候ナリ

謹言

申
三月



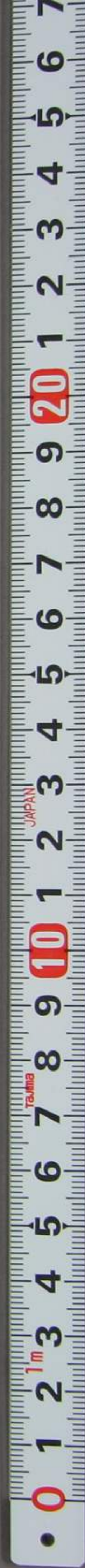
車情

四月三日申
一七巳年七條の海上村に送請書

御月梅の事若輩の形徒抄入を簡
也叔司官福の船業也夷國の海に舟
歌羅色、帰るせよの洋字と云ふ、若輩
是れ、悲しき事、後病死海に去り人
物、御、之、事、俄、彼、の、帆、波、也

大天
隈正
候十一
年四月

小池
小池



各部の人... 敬し... 上... 中... 併... 況

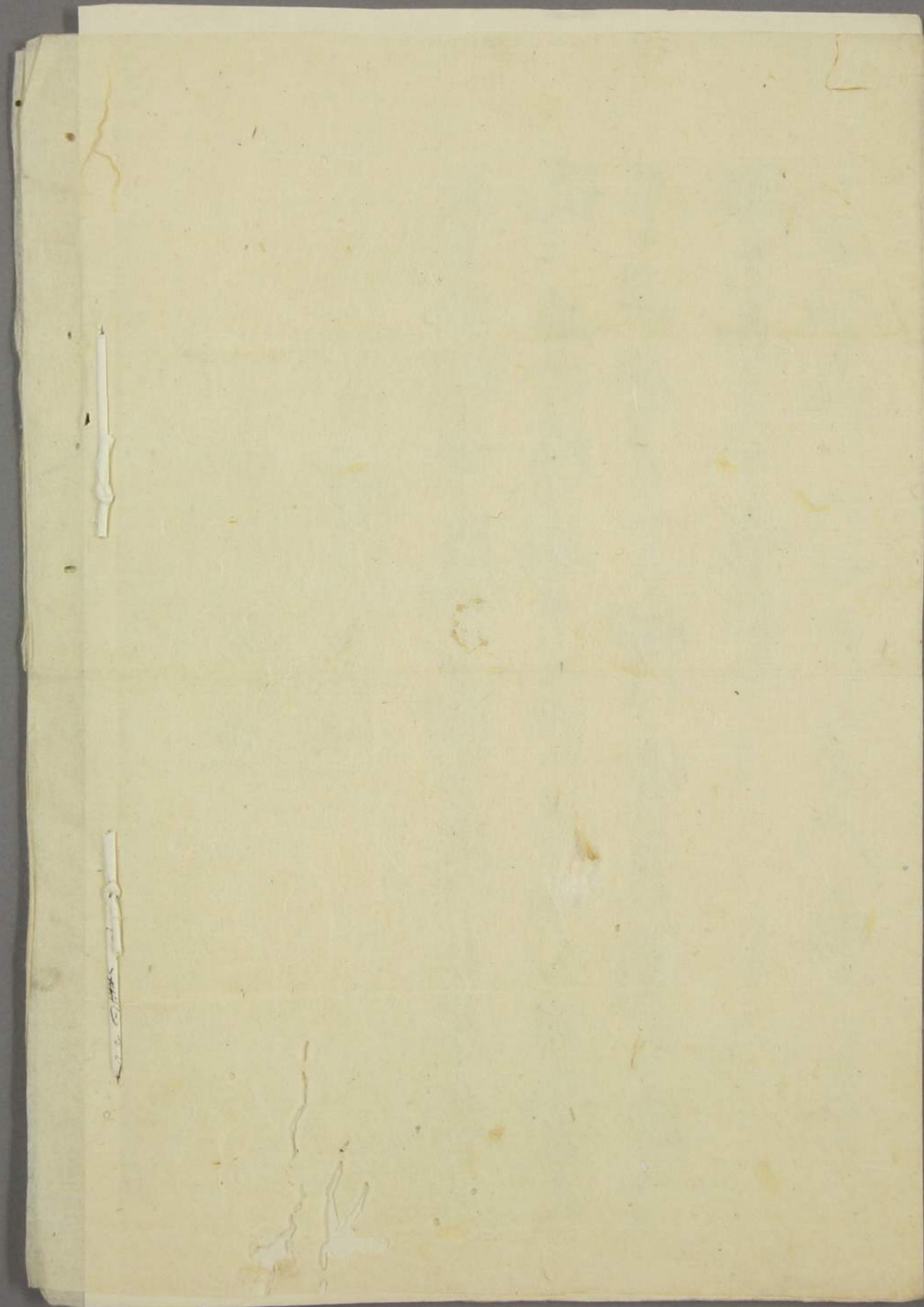
謹言

了日録

長尾

小池大先生
小栗大先生

方... 況... 夫... 際



奉
甲子
年
集

大
限
正
候
十一
年
四
月
贈

示
正

河越縣小野 安去市 名大 作 天
業 八 込 山 和 友 安 去 山 之 友 及 卯 齋 齋 中
坂 切 艾 丹 之 副 机 卯 際 中 二 三 卯 方 内
西 海 法 山 中 以 九 早 方 候 卯 際 中 卯 際
卯 際 中 卯 際 中 卯 際 中 卯 際 中 卯 際 中
卯 際 中 卯 際 中 卯 際 中 卯 際 中 卯 際 中
卯 際 中 卯 際 中 卯 際 中 卯 際 中 卯 際 中



嘉しをじたるは格別し舞之る勢より
おむ去近前札^{ナツ}事 所際中をい向の國
禁しは保國禁人少能叙十挿紙の
不曉し西教もせしん天皇の
まゝ叙せしむ叙も 誠上らるる 天皇の
ことばをいふおのて西教もあつてもい
しむるもせしむ 然るに三日共うするに
及仰 横濱の若館正ん叙所 彼地
及しを叙すは西の事とるは節人
の叙所のいふに 彼叙人少能叙に
る 衆状と之辞し中叙を以て 無事心
流とせしむる
一 安部新 三 中書大左大臣 兼 左大臣
御 四 兼 右大臣 兼 右大臣 兼 右大臣
五 兼 右大臣 兼 右大臣 兼 右大臣
六 兼 右大臣 兼 右大臣 兼 右大臣
七 兼 右大臣 兼 右大臣 兼 右大臣
八 兼 右大臣 兼 右大臣 兼 右大臣
九 兼 右大臣 兼 右大臣 兼 右大臣
十 兼 右大臣 兼 右大臣 兼 右大臣

重なる中世の合し唯流るる所
乃何し其王と書くことありし

古事記の御成事の中書しお作る
るは古事記の御成事の中書し
お作るは古事記の御成事の中書し

一諸國の御成事の中書しお作る

乃何し其王と書くことありし
乃何し其王と書くことありし
乃何し其王と書くことありし

断 乃何し其王と書くことありし

乃何し其王と書くことありし

乃何し其王と書くことありし

乃何し其王と書くことありし

乃何し其王と書くことありし

乃何し其王と書くことありし

諸王

乃何し其王と書くことありし

乃何し其王と書くことありし

小栗大老

中の方より
中の方より

懐

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

小池

七辰年

若館志深なる
月一冊と知持波
マリシアンプル
館地名書
熟読
る



ノ、修ヲ新有為、其為時、其結、切支
丹、家、人、名、新、ノ、以、其、相、約、ノ、中、リ、

一、積、債、博、局、信、信、ノ、取、取、ノ、其、庫、

ニ、其、リ、ノ、其、取、ノ、取、取、ノ、其、取、

其、取、ノ、其、取、ノ、其、取、ノ、其、取、

其、取、ノ、其、取、ノ、其、取、ノ、其、取、

一、為、節、天、之、貴、其、任、ノ、邦、徒、子、以、

此、之、増、減、也、

一、如、取、取、取、人、其、近、三子、二、二 結、死、其、

其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、

其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、

其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、

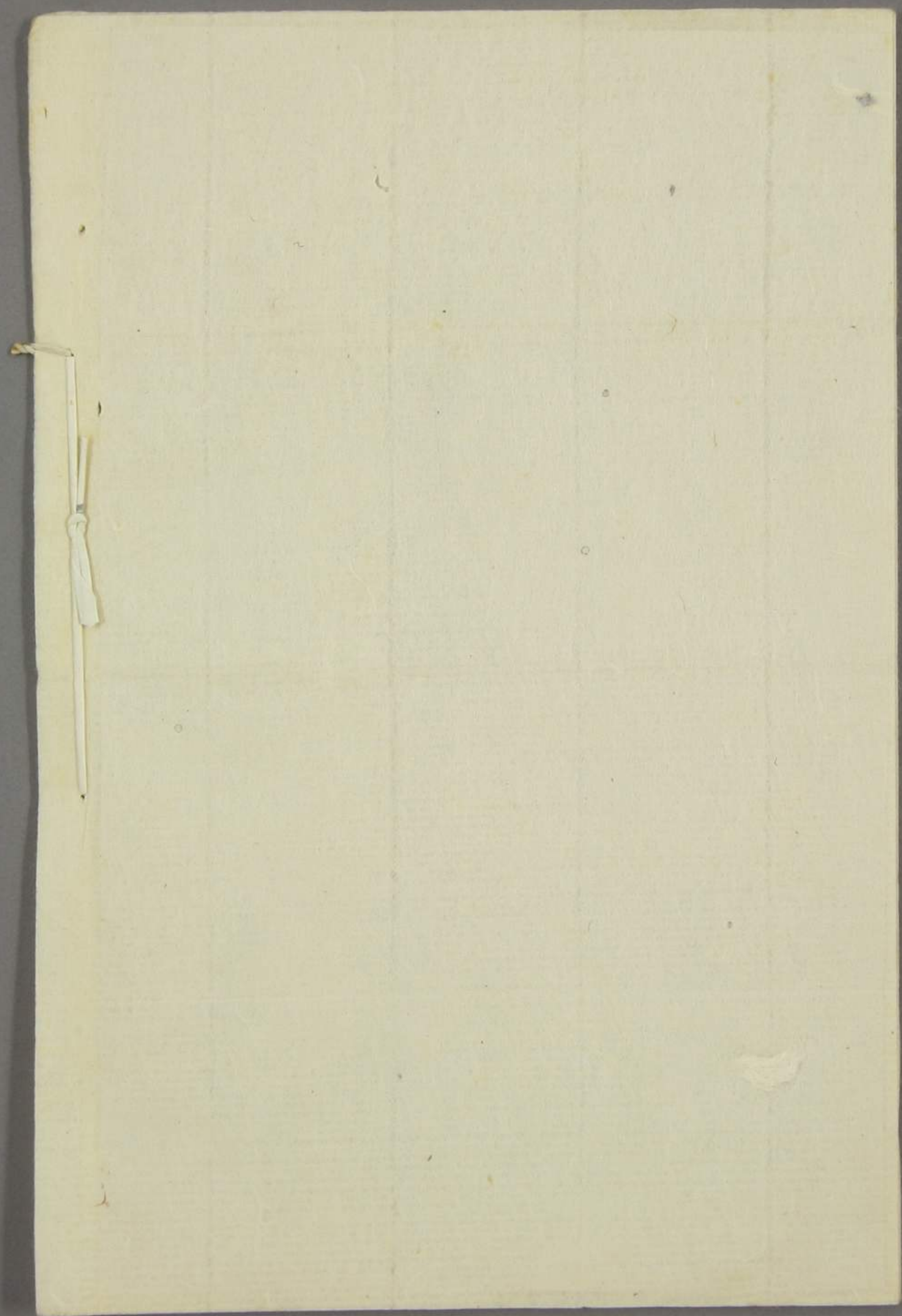
其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、

二婿と諷テ怪敷候事共在故
共好御事共申上ル一也
P.T. 外不申上ル口不是也
此致し申上ル一也
共好御事共申上ル一也
共好御事共申上ル一也
共好御事共申上ル一也

今一在り

長尾 貞男
西友

山梨夫人共在



徳助^{パテール}ニ 子ナクシテ 物ナクシテ 人ナクシテ 徳助ニ

天ニ去リ 帰ル人

一 蘇我^{スエ}ノ 子^コナクシテ 物^{モノ}ナクシテ 人^{ヒト}ナクシテ 徳助ニ

一 蘇我^{スエ}ノ 子^コナクシテ 物^{モノ}ナクシテ 人^{ヒト}ナクシテ 徳助ニ

一 同^{ドウ}ノ 島^{シマ}ノ 政^{セイ}ノ 方^{カタ}ノ 一^{ヒト}年^{ネン}ナクシテ 世^セノ 中^{ナカ}ノ 身^ミ

一 蘇我^{スエ}ノ 子^コナクシテ 物^{モノ}ナクシテ 人^{ヒト}ナクシテ 徳助ニ

一 長^{チカ}ノ 波^ハノ 浦^{ウラ}ノ 上^{ウヘ}ニ 年^{ネン}ナクシテ

一 比^ヒノ 古^コノ 是^{コト}ノ 夫^{ソノ}ノ 人^{ヒト}ノ 名^ナヲ 知^チル^ルト 中^{ナカ}ノ 身^ミ

思^{オモ}フ^フ所^{トコロ}ノ 實^{マコト}ニ 見^ミル^ル所^{トコロ}ノ 子^コノ 波^ハノ 浦^{ウラ}ノ 上^{ウヘ}ニ

初^{ハジメ}ニ 蘇^{スエ}ノ 子^コナクシテ 物^{モノ}ナクシテ 人^{ヒト}ナクシテ 徳助ニ

一 長^{チカ}ノ 波^ハノ 浦^{ウラ}ノ 上^{ウヘ}ニ 年^{ネン}ナクシテ

一 十^{ジュウ}ノ 年^{ネン}ノ 是^{コト}ノ 世^セノ 中^{ナカ}ノ 身^ミノ 名^ナヲ 知^チル^ルト

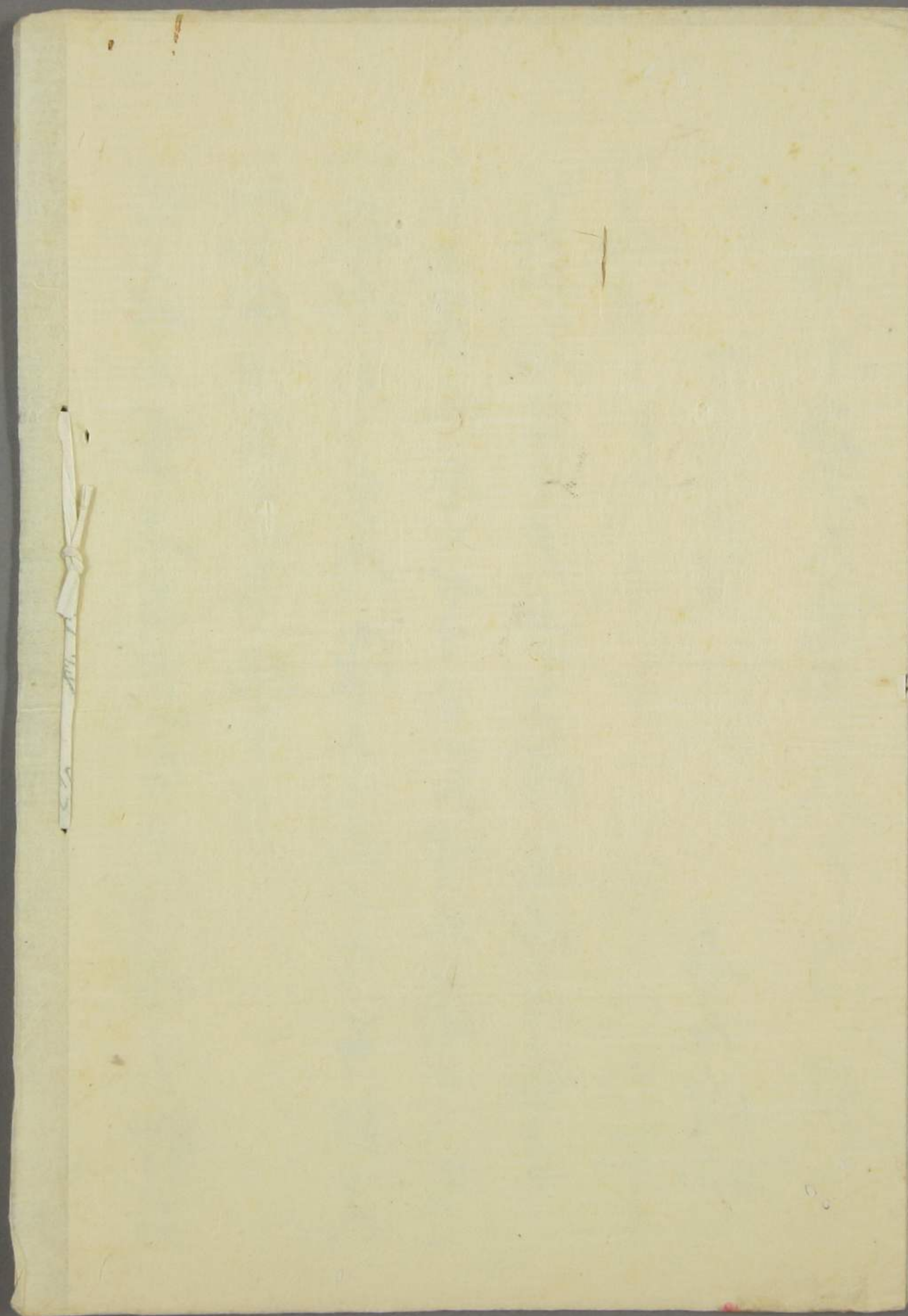
一 蘇^{スエ}ノ 子^コナクシテ 物^{モノ}ナクシテ 人^{ヒト}ナクシテ 徳助ニ

三

一

長^{チカ}ノ 波^ハノ 浦^{ウラ}ノ 上^{ウヘ}ニ

小^コノ 蘇^{スエ}ノ 子^コナクシテ 物^{モノ}ナクシテ 人^{ヒト}ナクシテ 徳助ニ



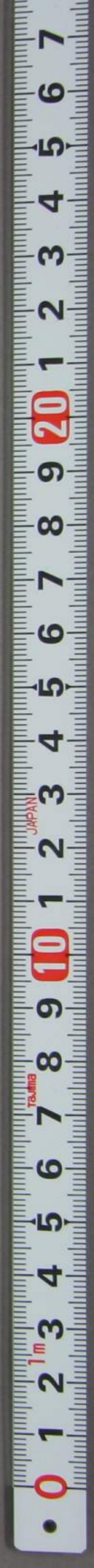
此後六年甲子乙未
千八百八十八年

一 名 邦 蘭 西 公 女 奴 奴 人 船 以 月 行 浮 不
以 人 者 時 極 演 之 寄 ぬ 何 毛 密 決 幸 せ 也
一 色 の 極 演 ぬ ぬ 何 ン ヤ ン グ ン 要 判 毎 ホ ン コ ン 色 ぬ
夜 夕 極 演 ぬ ぬ
一 或 の 女 奴 奴 人 都 會 知 心 毛 方 是 ぬ ぬ 家
業 ぬ ぬ ぬ ぬ 同 心 毛 統 未 州 田 舎 人
強 固 倫 執 ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ
乙 為 志 是 等 ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

長年

大正十年四月
大隈侯爵御贈

謹識



不上の由は是と稱す由は是と稱す
由は是と稱す由は是と稱す
由は是と稱す由は是と稱す
由は是と稱す由は是と稱す

一、あ部信しと録引し、横濱石門大工に其印
以て母共、之を運送使徳とある事

一日、キリシタノ宗を以て、何程、以て付と在通
其力、容易なるに、河ある事、とある事、
河は、是と稱す、河は、是と稱す、
河は、是と稱す、河は、是と稱す、

とあり、其故、之れ悉く、其故、之れ悉く、
其故、之れ悉く、其故、之れ悉く、
其故、之れ悉く、其故、之れ悉く、
其故、之れ悉く、其故、之れ悉く、
其故、之れ悉く、其故、之れ悉く、

一、セ、方、弗、蘭、西、方、耶、穌、十、字、架、し、像、瑪、利、
亞、耶、穌、を、イ、タ、キ、し、像、二、宗、の、由、は、是、
とあり、其故、之れ悉く、其故、之れ悉く、

横濱天主堂事情

明治六年四月九日
和百十九号

長年



長年



横濱天主堂事情

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

一當日十日也ス夕一週日ニハ耶穌弟子ノジェダス茹達斯ス

ルモノニ許訟セラレホシヨピラト杯言フ役人ニ渡ナレ

后ケカラウリウトニ所ニ於テ賊ニ人ト共ニ耶穌十字

架ニ釘セラレタリ故ニ是ノ向ハ悲ニ内トラテ司教始メ

諸生下男ニ至ル道内食ヲ禁ス但ニ魚肉殊ニ日中一食

ノ外朝暮食禁會堂ニハ耶穌ヨハネ約翰ヨリハアチスミ洗滌シ

受ルノ画像ヲ取除キ十字架ノ木像ヲ包ミ瑪利亜

ノ像ヲ覆ヒ椿杯ノ樹水ヲ以テ森林ノ形ヲ為ス是ハ

耶穌 セツマニヤ 森 血汗ニテ流シ或ハカラハリウニテ刑セラ
レ其地形ヲ表スルモノナリ 偕九時羊ニハ誦經ヲ始メ
耶穌十字架ヲ持行ノ写真十四牧堂内ニ掛置キ一
并禮シテ死罪ノ回縁ヲ説ク同夜三十余人ノ諸生
共羊時間ニ人交代會堂ニ至テ黙誦拜礼セシメ通
夜如是

同十二日教師耶穌十字架ノ像ヲ手ニ持テ諸人ヲ
近寄ラシメ其像ヲ舌ニ觸ル、男女一人ノ洩ル、モノナ
レ其敬禮殊勝ナル形容又レ言ヘカラス

同日洗禮ヲ受ル姓名 東京本橋邊江河政一

日 横山我久藏

長崎縣下 中野逸三

宮城縣 多田 繼

上野 境野金十良

右洗滌ヲ受ル者ニ十日ヨリ十二日ニ至ル迄十二時一食
ノ外朝暮新食十一日々暮ヨリ十二日洗滌迄吞
モノ迄許サス九時羊洗禮式ノ事司教先耶穌
十字架ノ前ニ拜礼シテ十間計相隔テ耶穌約翰

ヨリ洗滌受ルノ臺前ニ至ル事三度々々目ニ洗滌ウ
クル者ヲ連行キ着坐シテ口ニ誦經シ額ト兩耳ノ
下ト唇トニ指ミテ十字架ツシルス而シテ舌ニ鹽ヲ味ハシ
ハ司教被キモノヲ除キテハ着スルコト數度附隨ノ教
師四人或ハ書シヒロケテ司教ノヨミ為ニモケ或ハ被
モノ或ハ香燭或ハ油茅ヲモツ蠟燭ヲ持諸生五人
或ハ盥等各自白衣ナリ司教洗滌ノ者ニ向日汝ハ
聖會^{セントキレギヤ}何ヲ願フ乎答ヒウエテム^{信德ヲ聖}又向日
ヒウエテムハ何ヲ汝ニアタフル歎答ハ井タムエテム

終ナキ命ヲ賜ヘ^{トノケムナリ} 向日ク限りナキ命ヲ望ムナラハ^{デウス}天主ノ授
シ守リ心ノツヨリ天主ヲ愛スヘシ又アニマ^靈ノ全体分
別シテ他人ヲ若ク愛スヘシ夫ヨリ某者ノ負^ツ口ニテナ
メ申ニハ醜魔鬼神^{一切ノ神明佛菩薩等}彼ヨリ出ヨキナ
シクシニナラハルモノニハ^{魔鬼}其者ノ^而テスヒリトオン止^{サガヒ}ハラ
キリトニ所^シロツアタヘヨ 向日魔鬼ノ取トナリ彼ニ隨身
イタス乎否乎答アヘルノムスヨ^{已後}天狗ノ教^ツ 問天主
ノ教ヲ真信スル乎答ケト信ス也問天堂ノゴロリ^{親福也}
ビヨ望ムヤ答日オ一口希望 司教日ク天主ノ教

ノ信德ヲウケテ天主ノ徒ニ早クナルヤウニ行ツ以テ如是
ナル事アルヨトシ^シ而シテ又^油首ト頭トニクルス架^{十字}架^架ヲ記ス
又司教^經ヲラシ^同曰^シ唱^ヘ如何^ニ即主^シノ惠^ヲ以テ^テ苦^等
カ^カ願^ヲ開^角角^ケ玉^ハ又是^ノ人^選ノモ^ノヲ^脚主^シノ^十字^架
ノ記^ヲ記^セタル限^{ナキ}善^德ヲ以テ^テ守^護シ玉^ハ廣大
ナル^脚身^ノゴ^ロリヤ^ニ至^ルヤウ^ニ苦^等ノ^脚主^シキ^リミ^ト
ノ^脚切^德ヲ以テ^テ奉^頼亞^孟孟^孟
同^{十三}日^巴斯^卦耶穌^復活^日彼^ノ教^ヲハ^第一^ノ祝^ヒ日
ナリ是^日常^ノ安^息ニ^カハ^リテ^テ群^衆會^堂ニ^滿ツ^西

洋人樂人十余人勤行中十字架ヲ如故移ス教師
七人各又一職ヲ兼タリ退坐^ニ字^ニ及^フト^シ日^白
一十一日未^タ告^解解^ハジ^メナ^レハ^少年^已來^ノ罪^狀ヲ^聞ク
而^テ切^支丹^ニ相^成上^ニ夫^婦ノ^離縁^ヲ許^サス^已後^外
道^ニ立^入事^ヲ嚴^禁ス

右告解ノ事ハ洗滌ノ前日也

一當十九日教師二人長寄^ニ至^ル
一長寄縣下浦上村邪徒過羊^歸村致^シ當時屋舍
建立^迄家^{ナキ}モ^ノニ^ハ處^々長^屋造^リニ^合係^居任^トシ

